

# 次期開催県あいさつ

広島大会実行委員会

会長 河野 一 則 様

皆様、おはようございます。

本日、優良校、功労者受賞された皆様、誠におめでとうございます。ただいまご紹介いただきました、来年度全国大会を開催いたします広島県の実行委員会会長の広島市立本川小学校校長の河野でございます。どうぞ、よろしく願いいたします。

まず、この8月20日未明の広島市の土砂災害では、全国の方々からご支援や温かい励ましの言葉をいただきまして感謝申しあげます。また、御嶽山での災害におきまして関係者の方々は胸を痛めておられることと思います。

本日第53回全国学校体育研究大会岐阜大会の開催、誠におめでとうございます。岐阜県の先生方は本日を迎えるに当たって、多くのご苦労があったことと思います。実行委員会を中心として先生方が一丸となって進め、乗り越えられたことに敬意と感謝を表したいと思います。この岐阜大会を参考にしながら、数々の成果を広島大会へとつないでいこうと考えております。

さて、来年度は、第54回全国学校体育研究大会を広島県で開催いたします。今日、運動に親しむ資質や能力を確かに保障する質の高い体育事業の実現が求められております。これら運動に親しむ資質や能力を、幼児、児童、生徒が確実に身に付けて行くためには、運動ができることや分かること、人と豊かに関わり合うことが不可欠となります。そのために、広島県では自ら考え、学び合い、高め合うことのできる学習過程や学習形態の工夫、発達の段階を踏まえた指導と評価の計画を柱に体育学習の充実を図ってきました。

広島大会では学習指導要領及び幼児期運動指針の趣旨と、これまでの広島県における学校体育研究の成果を踏まえ、大会主題を『「わかる できる かかわり合う」体育学習 ー運動への関心や意欲を高め、自ら考えたり工夫したりする力を身に付ける体育学習の充実ー』と設定し、お手元のパンフレットにありますように、幼稚園から小学校・中学校・高等学校、特別支援学校、附属学校とそれぞれの校種で研究主題を掲げ、13会場での授業公開、12分科会での協議を予定しております。参加していただきます先生方には各園、各校の取組や授業についての率直なご意見をいただき、次への取組や授業に活かしていきたいと考えております。

このように、広島県が幼稚園から高等学校、特別支援学校が一つになって取り組むことが、これからの体育授業の質の向上につながるものと思います。そして、若い先生や経験年数の少ない先生にとって、教師生活の中でこの大会が1回あるかないかという貴重な経験をしてくれるものと思います。そのことが、広島県全体、個々人の力量を高めるものと考えております。

最後になりましたが、広島県には世界文化遺産の原爆ドームや宮島にあります厳島神社があります。11月は観光に適している季節とも言えます。また、山、海の幸が豊富なところでもございます。そして酒都、酒の都でもあります。歴史や文化をしっかりと味わっていただきたいと考えています。

それでは、来年広島のおもてなしの心で先生方をお待ちしております。どうぞよろしく願いいたします。